

金ETF証拠金取引 WEEKLY REPORT

2023/04/17号

一般社団法人日本貴金属マーケット協会 池水雄一



【ゴールドマーケットの現状】

4週連続円建てゴールド市場最高値更新8714円へ

SPDR Gold Shares円建価格

ゴールドとドルインデックス



四週間連続で円建てゴールドの歴史的な高値更新となりました。新高値はきしくも木曜日と金曜日につけた8714円。これは年初から考えるとほぼ1000円の上げとなり4カ月で13%ほど上昇したことになります。ドル建てゴールドも一時2047ドルとこれも歴史的な高値である2020年8月7日の2072.5ドルまで30ドルを割り込むレベルまで上昇しました。これは13カ月ぶりの高値です。しかしさすがに連日の上昇に、週末を前にした金曜日には利食いの売りが出て大きく下落、ようやく訂正が入ったというところでしょうか。この金曜日の下げで一週間分の上げをすべて下げ、一週間の始まり値と終わり値がほぼ同じレベルとなりました。マーケットとしては「健康的」な下げとなったと感じます。このゴールド売りの背景にあるのは、JP Morgan, Citibank, Wells Fargoなどの米銀大手が軒並み業績の上昇を発表したことで、銀行不安が後退したこと、経済指標が好調であったこと、FRB理事のタカ派的な発言があったことなどがありました。マーケットはFRBの年内での金利下げから、6月にも金利上げが続く可能性の方へ傾きつつあるようです。5月の0.25%金利上げの確率は83.4%に上昇しました。経済の先行き不安の退潮と金利上げの継続の可能性が、ゴールドの利食い売りを誘ったというところでしょう。確かにあまりに一方的な上げは「不健康」であると考え、この下げはあるべき形の相場訂正局面といえるでしょう。このゴールドの急騰が現物マーケットに与えた影響も今回の価格修正の動きに関係していると言えます。一時40ドルあった上海黄金交易所（SGE）のLoco London Goldに対するプレミアムもゴールド価格の上昇とともに現在3~5ドル程度まで下落。世界の現物需要の中心地である中国で急激にその買い意欲が細まっているという状況があります。これもまた価格の修正が必然であったと言える背景でしょう。長期的には買いやすくなったと考えます。

本資料のご利用については、必ず巻末の重要事項（ディスクリーマー）をお読み下さい。

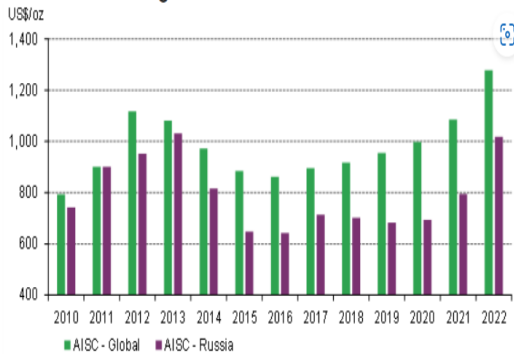
金ETF証拠金取引|WEEKLY REPORT

【マーケット・トピック】

「金鉱山会社のコスト上昇」

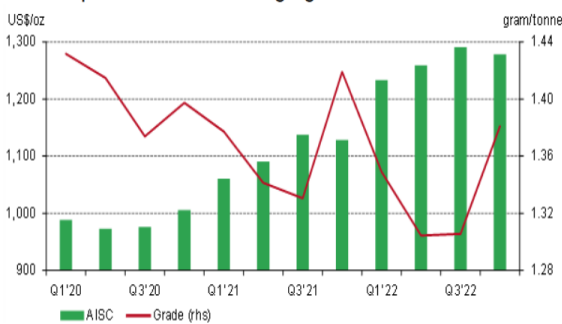
WGCの発表によると2022年のゴールド鉱山会社のAISC（All in sustaining cost：採掘継続総合コスト）は前年から18%上昇し、1オンス1276ドルとなり、これまでの最高値であった2012年のよりも14%、160ドルも上回るようになりました。パンデミックによる流通の問題、政府による財政補助などによるコストの高騰。ゴールド価格の上昇により鉱山会社自身もコストの高い鉱脈を掘るといった姿勢になったこと。それに加えて2022年2月のロシアのウクライナ侵攻は、エネルギーコストを押し上げ、それがひいてはシアン化合物や爆薬の価格をも上昇させ、労働者雇用のコストも大きく上昇しました。特にロシアにおいては経済制裁の影響もあり、世界平均よりもさらに大幅に上昇しています。2022年のロシアのAISCは前年比で28%上昇し、1018ドルとなり2013年以来の最高値となっています。

Global and Russian average AISC



Source: Metals Focus Gold Mine Cost Service

Global AISC drops in Q4'22 as average grade rises*



Source: Metals Focus Gold Mine Cost Service

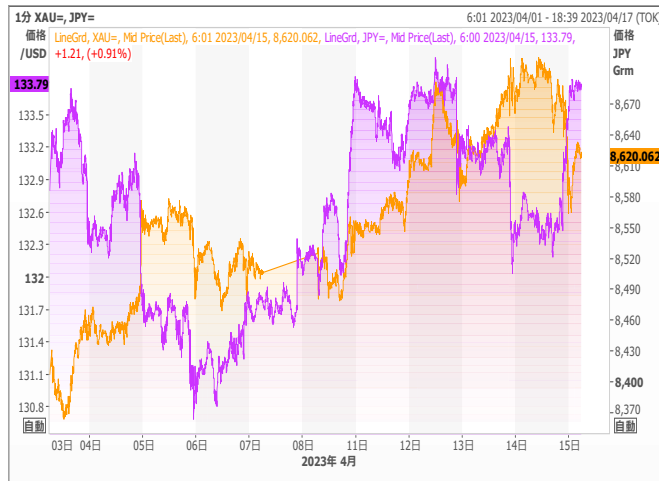
*Data to 31 December 2023.



Gold ETF残高とゴールド価格



米長期金利とゴールド



円建てゴールドとドル円

本資料のご利用については、必ず巻末の重要事項（ディスクリーマー）をお読み下さい。

【ディスクレーマー（免責条項）】

本レポートは、本取引所が一般社団法人日本貴金属マーケット協会から提供を受けて、公表しているものであり、本レポートの内容に関する一切の権利は、一般社団法人日本貴金属マーケット協会に帰属いたします。本取引所は、本レポートの正確性、完全性、適時性等を保証するものではありません。また、本取引所は、本レポートを用いて行う一切の行為及び本レポートに基づいて被った損害について、何ら責任を負うものではありません。

株式会社東京金融取引所

本レポートは、一般社団法人日本貴金属マーケット協会（以下、弊社）が、投資判断の参考となる情報提供を目的に作成したものです。金融商品売買の勧誘を目的としたものではありません。投資に関する最終決定は、投資家ご自身の判断で行って下さい。本レポートは、弊社が信頼できると判断した情報源からの情報に基づき作成したのですが、情報の正確性、安全性を保証するものではありません。また、本レポートに記載された見解や予測は、本レポート発行時における弊社の判断であり、全部または一部が予告なしに変更されることがあります。本レポートを使用することに生ずるいかなる種類の損失についても、弊社は責任を負いません。本レポートの著作権は、原則として弊社に帰属いたします。本レポートにおいて提供される情報に関して、弊社の承諾を得ずに、当該情報の複製、販売、表示、配布、公表、修正、頒布または営利目的での利用を行う権利を有しません。

【会社名】 一般社団法人日本貴金属マーケット協会（Japan Bullion Market Association）

【所在地】 〒103-0016 東京都中央区日本橋富沢町11-15-503

【URL】 <http://jbma.net>

【E-mail】 info@jbma.net

池水雄一（いけみず・ゆういち）プロフィール

1962年生まれ兵庫県出身。1986年上智大学外国語学部英語学科卒業後、住友商事株式会社入社、その後1990年クレディ・スイス銀行、1992年より三井物産株式会社で貴金属チームリーダーを務める。2006年よりスタンダードバンク東京支店副支店長、2009年に同東京支店で支店長に就任。2019年9月より日本貴金属マーケット協会（JBMA）代表理事に就任。一貫して貴金属ディーリングに従事し、世界各国のプリオン（貴金属）ディーラーでブルース（池水氏のディーラー名）の名を知らない人はいない。

最新情報は
ツイッターで

